

森のビンゴゲーム



— 実施の前に —

指導者の方は、自然の中に何があるのか、何を探してほしいのか、とげのある植物や滑りやすいなどの危険な場所がないかなど、事前にビンゴゲームを行う場所を決めて、広場や道を歩いておきましょう。植物や生き物などで引っかかったりしてケガをしないように、森の斜面を歩いたり、走ったりしないように遊歩道の上を歩くことを伝えましょう。

— 遊び方 —

- ① 1人1枚ずつ、もしくはグループに1枚、ビンゴゲーム用紙と筆記用具を配る。
※カードはクリップボードに挟むと書きやすい。
- ②-1 空欄のビンゴゲーム用紙を使用する場合
森で探すものをマスの数分を発表し、それぞれ好きなマスに探すものの名前を書く。
※探すものは自然のものに限ることを伝えておく。
- ②-2 お題が決められた季節のビンゴゲーム用紙の場合
書いているお題を一緒に読み上げてみると良い。
- ③ 森の中をゆっくり歩きながら探していく。見つけたらマスにチェックや○を書く。
※グループで行う場合は、全員で確認してからチェックする。
※時間があれば見つけたものの絵を描いてみるのもいいかもしれません。
- ④ チェックが一行に並んだら、「ビンゴ!」と言って線を引く。
- ⑤ 最後に全員で集まって、何本線が引けたのか、ひとつずつ何を見つけたかを聞く。
※絵や持ってきたものを見せ合ったりするのもいいかもしれません。
- ⑥ じっくりと目を凝らして歩くと、いろんな発見があることを伝える。

— Q&A —

Q. 答え合わせはどうすれば？

A. これが正解というものはありません。指導者やビンゴをした人におまかせしています。
想像力や感じ方は人それぞれ！見つけたものがこう見えた！を大事にしてほしいです♪

Q. どこで実施するの？

A. 名栗げんきプラザの敷地内(屋内以外)がフィールドになっています。

HPに掲載している、あるいはビンゴゲーム用紙の裏面にマップがあります。範囲設定が必要な場合はマップを参考にしてください。○や□などで遊ぶ範囲を囲ってもらって構いません！

みなさんが楽しく遊べるようにビンゴゲームを使ってくださいね！

Q. 探すもののお題に困った！ どのようなお題を出せばいいの？

A. お題によって捉え方がたくさん出てきます。自然物の見た目の形や手触りなどを入れたり、ゲーム中にしてほしい交流などを入れてみるといいですよ。また、季節によって自然物は変わります。

下記にいくつか例を上げますので、参考にしてみてください！

— お題の例 —

○見た目の形・手触りなど

ふわふわ・とげとげ・まるい・角ばっている・ぐるぐる・軽い・重い・きらきら

つるつる・ざらざら・ぬるぬる・かたい・やわらかい・いいにおい

手より大きなもの・指より細いもの・笑顔に見えるもの など

○春の季節

・紫色、白色、ピンク色 赤色 ~のもの（スマイル、サクラ、つつじ、ツバキ など）

・ムシ（飛ぶムシ、歩くムシ など）

・匂いがするもの（花、葉 など）

○夏の季節

・白色、青色（アジサイ、ユリなど）

・穴のあいた葉っぱ（虫の食べあと、自然に空いた穴 など）

・巣（クモの巣、鳥の巣 など）

・ひんやり、つめたいもの

○秋の季節

・オレンジ色、白色、茶色、赤色 ~のもの（きのこ、金木犀 など）

・大きな落ち葉（ホオノキ、トチノキ など）

・木の実（杉玉、どんぐり、いがぐり）

○冬の季節

・白色 ~のもの（サザンカ、雪、霜 など）

・芽・つぼみ（木の芽、花のつぼみ）

・あたたかいもの（太陽、あたたかく見えるもの、人のぬくもり など）

○難易度の高いもの

・動物の足跡

・動物のふん（鹿・ムササビ・鳥）

・動物や虫の食べあと（木の実・葉っぱ・木の幹 など）

・動物の鳴き声（鳥・鹿(運次第) など）

○コミュニケーション・その他

・あいさつを○回する（別のグループやすれ違う人 など）

・他のグループと出会ったらハイタッチをする

・20秒間一言もしゃべらず耳を澄ました時、何コ(種)音が聞こえた？